

NO.217

令和7年6月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

GIKAI TIMES



分別救助隊
ワケルンジャー

特集

令和7年度予算を審査

令和7年度予算を審査

令和7年度予算は、今後の市民生活を支える大規模な事業が重なったこともあり、過去最大の規模となっています。予算が適切に配分されているか、また、未来を見据えた予算になっているかを審査した予算委員会を、権藤智喜委員長と古賀としかず副委員長が振り返りました。



令和7年度予算



権藤智喜委員長

市の予算案の印象は？

権藤 人口が減少している中での過去最大の予算。市民の安全・安心を一番に考えて、防災・減災に関する予算がしっかり確保されていると感じました。原口市長は市長になる前から「防災・減災対策は、10年でもやることを4年でやる」ということをおっしゃっていました。4年目となる令和7年度の予算は、その集大成であろうと思います。



予算の評価できる点、印象に残った質疑は？

権藤 带状疱疹ワクチンの補助についてのやり取りです。議論の結果、個人負担が軽減されることになりました。議会からの提案で事業が充実した、分かりやすい例です。

古賀 とても大きなことでした。議会の重要性を改めて感じました。その他には、教育関係の質問が多く、印象に残っています。給食の食材費が値上がりした分を市が負担する提案もありました。タイムリーに子育て世帯の負担を軽減しようとする点は評価できると思います。

住み良い久留米市を築くために必要なことは？



権藤 久留米市の人口は30万人を切りました。未来の久留米市を担うのは子どもたち。ここに手厚い支援が必要です。既にさまざまな事業がありますが、今以上を期待したいですね。久留米で子どもを育てたいという親や若者が増えるような、子育て支援、住環境や雇用・労働環境の整備などもそうですが、子どもへの直接的な支援が必要だと思います。

古賀 デジタル化やAIの活用を進めていくことが大事でしょう。今回の予算委員会では、公共サービスや学校教育の電子化も話題になりました。ただ、デジタル化を進めても、市民が活用しにくいものでは意味がありません。うまく活用してもらえるような仕組みづくりも必要だと思います。

住み良い久留米市のためにやるべきことはたくさんありますが、厳しい財政事情も考えると、適切な優先順位が重要です。

権藤 人材確保やインフラの老朽化についての質疑もありました。長期的な視点を持ちながら、これまで以上に、民間を活用したり、地域とより緊密に連携したりといった取り組みが重要になっていくでしょう。



古賀としかず副委員長

予算委員会でのやりとりから

注目のポイント

- 正副委員長インタビューでも触れられているように、予算委員会の中で、新規事業の内容が改善されたのは特筆すべきことです。これまで、「やってみたらうで、議会が指摘した課題に対応して見直す」ということはありましたが、予算委員会の審議の中で、というのは異例のこと。議会と執行部が、必要かつ重要な課題を前に真剣に向き合った結果でした。
- 事業の廃止についての議論が深まったことは画期的なことでした。予算委員会は、「やること」を決める場所です。そこでは、「あれもしたい」「これもあった方がよい」と要望が膨張しがち。でも、行政の事業は、始める時よりやめる時の方が難しいもの。厳しい財政状況の中、新しい事業の展開や、重要な事業の拡充のためには、事業のスクラップアンドビルド※1という観点が重要です。

市民の皆さんと一緒に考えたいテーマ

● こども支援

我が国のこどもたちは、貧困、虐待、いじめ、幸福度の低さなどの問題にさらされており、その状況は深刻です。久留米市は、全てのこどもや若者が、将来にわたって幸せな生活を送ることができるように「こどもまんなか社会※2」の実現に向けて取り組みを進めています。

子育てには、悩みは尽きないし、お金もかかる。そうした保護者への支援は、当然必要です。でも、それもこれもこどもが健全に育っていくためのもの。肝心のこどもたちが、彼らの社会や生活の中で、何を感じ、何を考え、悩み、何を望んでいるのか、それを理解しなければ、こどもを真に支援することはできません。

ただ、こどもたちは、何かを感じていても、語るべき言葉を持っていないことも多いもの。もっとこどもたちに寄り添い、日常の中で、こどもたちの声にならない声に耳を傾けたいものです。そのために委員会では、こどもや若者の『声を聴く』場面や機会、方法について、様々な意見を出し、要望しました。



● 環境政策

今回の予算には上津クリーンセンターの更新事業が計上されています。令和7年度予算が過去最大になった要因のひとつではありますが、必要な事業です。環境への影響をより抑えた、安全かつ安定した施設になるように、市議会も協力して進めていきます。新センターは、令和10年の稼働開始を目指しています。



一方で、フードロスや過剰包装など、ごみの増加や資源のムダ使い、そしてそのことによる自然への影響などが問題になっています。一見ごみでも、分別すれば資源。分別すれば、ごみの量もごみ袋も減らせます。ごみの減量を進めたり、単身世帯の増加に対応するために昨年導入された特小サイズの指定ごみ袋※3の周知や、新たに導入されるごみ分別アプリの活用を通して、ごみの分別を促すような質問や意見が多く見られました。

※1 事業のスクラップアンドビルド…既存事業を削って生み出した財源を、新規事業や他の事業の拡充に充てること。
 ※2 こどもまんなか社会…こどもや若者の権利が保障され、健やかな成長が社会全体で後押しされることで、将来にわたって幸せに生活できる社会。国が実現を目指している。
 ※3 裏表紙の「今号の表紙」をご参照ください。

過去最大となる1,593億円の 一般会計当初予算などを可決

主な審議事項

- 令和7年度一般会計予算
 - ・重点テーマ(安全・安心な暮らしの実現、少子化・人口減少への対応、地域社会経済の活性化、デジタル化・DXの推進)
- 令和6年度一般会計補正予算(第7号)
 - ・内環状道路整備費用、小・中学校施設の長寿命化など国・県の補正予算を活用した事業
 - ・食料費や電気代などの高騰の影響を受けている福祉施設等への支援など物価高騰対策事業 など



議案の議決結果と賛否の状況はP6へ➡

3月定例会の経過

会期 2月18日から3月26日の37日間

第1日

▼ 2月18日

- 会期の決定(37日間)
- 歳入確保調査特別委員長、生活支援交通・買物問題調査特別委員長が調査結果を報告、どちらも報告どおりに決定
- 市長から令和7年度一般会計予算など41議案の提案説明

第2日～第6日

▼ 2月27日～3月5日

- 一般質問(P7～9へ)
- 議案の質疑
- 令和7年度一般会計予算など14議案を予算審査特別委員会へ付託
- 令和7年度予算関連議案以外の議案を各常任委員会へ付託
- 請願を教育民生常任委員会へ付託

予算審査特別委員会

▼ 3月6日～17日

常任委員会

▼ 3月18日・19日

第7日

▼ 3月26日

- 14議案を審査(P2,3へ)
- 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案を審査(P5へ)
- 予算審査特別委員長が令和7年度一般会計予算等の審査経過などを報告、全ての議案を可決
- 4常任委員会の議案審査結果を報告、全ての議案を承認または可決
- 請願の審査結果報告の後、不採択
- 人事議案1件が追加提出され、市長から提案説明の後、議案に同意
- 議員および議会運営委員会から議案3件が提出され、提案説明の後、可決

請願の審査結果

件名	結果
請願第2号 久留米市のすべての子どもの人権を守るための請願について	不採択 ※

※ 不採択・・・市議会として請願に賛同する「採択」に対し、賛同しないことを「不採択」という。

同意した人事案件

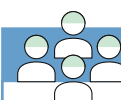
市長が任命、選任または推薦する人事で、議会が同意した案件です。

- 人権擁護委員候補者 岡 和子 林 昭久 井上 敬子 西山 弓子

※ 敬称は全て省略しています。

pick UP!

議案審査の概要



総務常任委員会

可決

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正(第33号議案)

育児・介護休業法の改正に伴い、時間外勤務免除の対象者の拡大や、休暇制度の拡充を行うため、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 生理休暇の期間が「2日間」から「必要な期間」に拡充されるが、2日を超える期間は無給になる。この改正で処遇改善になるのか。

A これまでは、2日を超えて生理休暇を取得する制度がなかった。今回の改正により、無給ではあるが、生理を理由に休める制度が拡充されるため、労働環境の改善につながると考えている。



経済常任委員会

可決

将来を担う農業者育成事業予算の減額(第2号議案)

新規就農者等が活用できる5つの補助金について、当初の想定より利用が少なく、合計7,425万円を減額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 機械、資材の高騰や、農地の確保ができなかったことで新規就農に至らなかった方が一定数いると聞いた。フォローはできているのか。

A 6年度に自営による新規就農がかなわなかった方には、7年度も継続して補助事業が活用できるように対応している。併せて、雇用就農をすすめるなど、個々の状況にあわせた支援をしている。

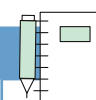
常任委員会の録画映像を配信中

久留米市議会では、常任委員会で行われている議案の審査や所管事務調査の録画映像をYouTubeで配信しています。開催日のおおむね1週間後から見るができます。ぜひ、ご視聴ください。



久留米市議会公式
YouTubeチャンネル

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。



教育民生常任委員会

可決

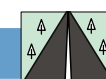
小・中学校の改修等に係る費用の増額(第2号議案)

国の補正予算を活用して、小・中学校の外壁、トイレ、照明のLED化、グラウンド、空調機などを改修するため、約3億円を増額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 学校のトイレは、一部で洋式化が進んでおらず、少ない洋式トイレに児童生徒が行列を作るといった課題があると聞く。どのように改修を進めていくのか。

A 現在は、使用頻度や学校のニーズが高いトイレから洋式化を進めている。学校の要望を聞きながら、優先度の高いところから改修していきたいと考えている。



建設常任委員会

可決

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正(第41号議案)

宮ノ陣と上津の両クリーンセンターに、家庭系ごみを直接持ち込む際の手数料を、10kgまでごとに現行50円から150円に改定するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

Q 手数料の大幅な値上げになるため、7月1日の改定日前に持ち込みがかなり増えると予想する。受け入れ態勢は大丈夫なのか。

A 6月に駆け込みによる持ち込み増加が予想される。そのため、持ち込みの際には、事前に両クリーンセンターのライブカメラで、混雑状況を確認いただくよう、あらためて周知する。併せて、ごみを降ろす場所の増設などの対策を講じる予定。



クリーンセンターのライブカメラ画像

議案・請願の議決結果

全員賛成で可決・承認・同意した議案

令和7年3月26日議決分

第1号議案	久留米シティプラザで発生した自動車損傷事故による損害賠償の専決処分について
第2号議案	令和6年度久留米市一般会計補正予算(第7号)
第3号議案	令和6年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
第4号議案	令和6年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
第5号議案	令和6年度久留米市下水道事業会計補正予算(第2号)
第8号議案	令和7年度久留米市競輪事業特別会計予算
第9号議案	令和7年度久留米市卸売市場事業特別会計予算
第10号議案	令和7年度久留米市市営駐車場事業特別会計予算
第12号議案	令和7年度久留米市農業集落排水事業特別会計予算
第13号議案	令和7年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計予算
第15号議案	令和7年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算
第16号議案	令和7年度久留米市産業団地整備事業特別会計予算
第19号議案	包括外部監査契約の締結について
第20号議案	財産の無償譲渡について
第21号議案	久留米市総合福祉会館の指定管理者の指定について
第22号議案	障害者相談支援事業に係る消費税の取扱い誤りによる損害賠償について(久留米市東部障害者基幹相談支援センター分)
第23号議案	障害者相談支援事業に係る消費税の取扱い誤りによる損害賠償について(久留米市西部障害者基幹相談支援センター分)
第24号議案	障害者相談支援事業に係る消費税の取扱い誤りによる損害賠償について(久留米市南部障害者基幹相談支援センター分)
第25号議案	障害者相談支援事業に係る消費税の取扱い誤りによる損害賠償について(久留米市北部障害者基幹相談支援センター分)
第26号議案	久留米市田主丸老人福祉センターの指定管理者の指定期間の延長について
第27号議案	久留米市三潴総合福祉センターの指定管理者の指定期間の延長について
第28号議案	久留米市都市公園の指定管理者の指定について
第30号議案	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
第31号議案	久留米市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例
第32号議案	久留米市職員退職年金及び退職一時金条例等を廃止する条例
第33号議案	久留米市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
第34号議案	久留米市国民健康保険条例の一部を改正する条例
第35号議案	久留米市子どものための教育・保育給付に関する条例の一部を改正する条例
第36号議案	久留米市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例
第37号議案	久留米市都市計画法に基づく開発許可等に関する条例の一部を改正する条例
第38号議案	久留米市手数料条例の一部を改正する条例
第39号議案	久留米市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例
第42号議案	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第2号議案	久留米市議会委員会条例の一部を改正する条例
発議第3号議案	久留米市議会会議規則の一部を改正する規則

賛否が分かれた議案・請願

議案名	会派名	久留米 たすき	きずな	公明党	立志会	みらい 久留米	緑水会	日本 共産党	日本 維新の会	議決 結果
令和7年3月26日議決分		(7)	(5)	(6)	(6)	(4)	(4)	(2)	(1)	
第6号議案	令和7年度久留米市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第7号議案	令和7年度久留米市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第11号議案	令和7年度久留米市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第14号議案	令和7年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第17号議案	令和7年度久留米市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第18号議案	令和7年度久留米市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第29号議案	久留米市個人番号の利用に関する条例及び久留米市市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第40号議案	久留米市営住宅条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第41号議案	久留米市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
請願第2号	久留米市のすべての子どもの人権を守るための請願について	×	×	×	×	×	×	○	×	不採択
発議第1号議案	久留米市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、きずな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。
賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。
会派名: 久留米たすき(久留米たすき議員団)、きずな(きずな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、
みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)
みらい久留米: 欠席者が1人いたため、表決に参加したのは3人



久留米市議会
「議案と結果」

議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

久留米市議会 議案と結果

検索

ここが知りたい

一般質問

代表質問

【代表質問とは?】所属する会派を代表して行う質問です。久留米市議会では当初予算を審議する定例会で行っています。

※このページの脚注は、P9に掲載しています。



議会中継(録画)

久留米たすき

行財政



松岡 保治

Q 公共施設の集約化は、一定進んでいるが、更にスピード感を持って取り組む必要があるのではないか

A 「公共施設総合管理基本計画※1」に基づき、令和7年度までに3%の施設面積縮減という数値目標を設定し、施設の集約に取り組んでいる。令和5年度末で、全施設の約1.5%の面積縮減となっており、現時点で計画目標に達していない。将来の財政負担や施設の安全確保のため、着実に進めるべきものと認識している。一方で、集約化は利用者に大きな影響があるため、丁寧に説明を重ね、理解が得られるように進めていくことが大事と考えている。今後、各施設の利用状況や安全性など、様々な要因を考慮し、議会と協議の上、タイミングを逸しないよう、最終的に判断していきたい。

その他の質問…西鉄宮の陣駅及び周辺整備、母子手帳の電子化など

きずな

行財政



山田 貴生

Q 市長就任から3年を振り返り、手応えは。また、インフラなどの課題をどう捉え、今後どう取り組んでいくのか

A これまで「国や県、企業など多様な主体との連携」、「市民や地域との協働」、「社会状況等に対応した改革」などの取り組みを進め、今後につながる確かな手応えを感じている。インフラなどの整備で、着実な進展がある一方で、課題もある。「老朽化の進行」には、維持管理経費を増額し、安全対策などを強化する。また、「都市機能の更新」のために中心市街地の再整備などに取り組む。「公共施設の最適化」に向けては人口減少を踏まえ、次世代に引き継ぐべき施設等について、市民生活に与える影響を勘案しつつ、議論を進めていく。今後も持続可能で安心・安全な市の実現に向け、努力していく。

その他の質問…今後の農業政策の方向性、今後の学校統合の考え方など

公明党

商工業・農業



塚本 弘道

Q 日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産※2に登録された。市の酒振興の考えと、販路拡大への取り組みは

A 本市には「伝統的酒造り」を行う酒蔵が多く集まっており、日本酒の振興は、地域経済を活性化させ、観光誘客にも寄与すると考える。これまで「筑後SAKEフェスタ」「城島酒蔵びらき」の開催や、トップセールスによる海外プロモーション、インフルエンサーによる情報発信などに取り組んできた。今回の登録を好機ととらえ、さらに日本酒の魅力をPRすることで国内外からの来訪につなげたい。販路拡大については、関係団体等と連携し、セミナーや個別相談会などを通じて、事業者を支援していく。今後も歴史ある地場の日本酒の振興を図っていきたい。

その他の質問…市有建築物の耐震化の取り組み、酪農家への支援など

立志会

教育・子ども



堺 太一郎

Q GIGAスクール構想に基づく、1人1台端末の活用状況と、国の動向を踏まえた紙とICTの今後の活用方針は

A ICTは、深い学びを実現するための手段の一つと考えている。ICTの活用により、議論を深めたり、物事を多角的な視点で捉えたりしやすくなった。また、国内外の人との交流や、登校できない子どもたちの学びの保障などにも取り組みやすくなるなど、日常の様々な場面で、子どもたちがICTを活用している状況である。国は「紙かデジタルか」の二項対立に陥るのではなく、バランス感覚を持って積極的に取り組む必要があると示している。今後も、子ども一人ひとりの状況や、発達の段階に応じた、紙とデジタルの最適な組み合わせを検討し、子どもたちに必要な資質や能力の育成に取り組む。

その他の質問…原口市政の集大成、生活支援交通・買物問題調査特別委員会の提言など

／ ここが知りたい ／ 一般質問 個人質問

代表質問 続き

みらい久留米

まちづくり・暮らし



秋永 峰子

Q 市民が男女平等について考える「久留米女性週間^{※3}」の目的について、庁内で再確認し、取り組むべきと考えるが見解は

A 「久留米女性週間」は、男女共同参画社会実現のため、市民と行政が一体となって取り組み、市民一人ひとりが身近なところから男女平等を考える重要な週間だと認識している。これまで、その周知のため、広報久留米への掲載をはじめ、主要な駅への懸垂幕やのぼり旗の設置を、各部の情報発信として、啓発パネルの出展、久留米シティプラザの公演と連動させた事業などを実施している。今後、部長級が参加する男女平等政策会議で、改めて、女性週間の目的を確認するとともに、女性週間と各部の事業が効果的に連携し、市民が男女平等について考えるきっかけとなるよう、取り組んでいきたい。

その他の質問…高齢者問題の相談体制の強化、人権・同和教育課の再編など

緑水会

商工業・農業



原口 和人

Q 国の法改正^{※4}などを踏まえ、本市も食料安全保障にしっかり取り組むべきでないか。また、基幹的担い手の法人化に対する推進策は。

A 国は、食料安全保障を基本理念の中心に法を改正した。国内の農業生産の増大を基本に、安定的な輸入と備蓄の確保を行い、食料の安定供給を図る。本市においては、多様な担い手の育成や確保、生産性の高い農業経営の実現、農業生産基盤の整備など、様々な施策を着実に進め、生産量を増加させ、食料安全保障の確立につなげていきたいと考えている。また、基幹的な担い手の法人化に向けては、集落営農組織や認定農業者などへ、スマート農業の導入や生産拡大等に取り組むための継続した支援に加え、担い手への農地のさらなる集積・集約を進めることで強化を図りたい。

その他の質問…下水道事業での今後の汚泥活用の取り組み、市役所のカスタマーハラスメント対策など

緑水会

まちづくり・暮らし



吉武 憲治

Q 高齢者や障害者の視点での、校区コミセン^{※5}へのエレベーター設置の見解は

A エレベーター設置については、地域からの要望も聞いている。校区コミセンはサークル活動など、幅広く活用されている。その利用者の多くは高齢者等であり、バリアフリー化は重要であると認識している。

その他の質問…教員の大量退職による「若年教員の指導力の向上」など

きずな

まちづくり・暮らし



堀田 洸太郎

Q アーバンスポーツ^{※6}を楽しめる場を増やす考えは

A 新たな施設整備は、安全対策などの課題に加え、今の財政状況では難しい。すでにある公共施設を有効活用するなど、市民がアーバンスポーツに親しむことのできる場の創出に向け、今後も検討していく。

その他の質問…久留米南西部地域の水害対策など

きずな

まちづくり・暮らし



田住 和也

Q 上下水道の老朽化対策は重要と考えるが、今後の市の対応は

A 他市の事故^{※7}を踏まえ、国では管路の維持管理や点検の在り方の議論が始まっている。この動きを注視し、上下水道管路^{※8}の効果的で効率的な管理手法を考えていく。また、優先度を考慮するなど、効率的な管路更新を進める。

その他の質問…こども誰でも通園制度など

日本共産党

まちづくり・暮らし



金子 むつみ

Q 久留米南スマートIC^{※9}(仮称)整備事業に関する地元の課題は

A 地元説明会では、近隣の県道の渋滞対策に関する意見が多く、スマートICとあわせた周辺道路整備の要望もある。令和6年度に交通量調査を実施しており、道路管理者の県と協議を重ね、渋滞対策を検討していく。

その他の質問…久留米南スマートIC(仮称)整備事業の総事業費など

立志会

健康・福祉



轟 照隆

Q 民生委員・児童委員^{※10}の活動をサポートするための支援や負担軽減の取り組みは

A 活動支援は、活動の仕方など、必要な知識を習得するための研修を実施。個別にも、助言や支援機関等へのつなぎを行っている。負担軽減として、定数増や年齢要件の見直しなどに取り組んでいる。

その他の質問…自転車の交通ルール改定に伴う、児童生徒の安全教育など

公明党

健康・福祉



坂田 光弘

Q 带状疱疹ワクチンのような高額なワクチンが、B類疾病^{※11}として定期接種化された場合の補助の考え方は

A 接種費用のうちワクチン代を除いた実施料を補助額の基本とし、疾病の特性や財政への影響などを総合的に判断し、決定している。高額なワクチンについては、国による接種費用の引き下げ措置を、機会を捉えて要望していきたい。

その他の質問…子育て支援における病児保育の現状と課題など

公明党

教育・子ども



田中 功一

Q 5歳児健康診査^{※12}の効果と、早期導入について市の考えは

A 効果は、発達障害などの課題の発見や、個別の状況に応じた支援への繋ぎなどが考えられる。実施体制の整備やフォローアップ体制の構築について課題を整理し、関係機関と協議しながら検討していく。

その他の質問…久留米南スマートIC(仮称)の今後の活用など

久留米たすき

教育・子ども



山崎 ケブン

Q 十分な保育士を確保するために、どのような取り組みを行っているのか

A 国の制度を利用した処遇改善のほか、市独自の取り組みとして「奨学金返済支援事業」や「潜在保育士就職支援給付金事業」に取り組んでいる。令和6年度から、「保育所・認定こども園見学バスツアー」なども始めた。

その他の質問…自治会の時代に合わせた運営など



保育所・認定こども園見学バスツアーの様子

※1 公共施設総合管理基本計画

市の財政負担の軽減・平準化と、施設の安全確保を目的に平成28年策定。市が保有又は管理する公共施設について、長期的な視点で総合的かつ計画的に適切な管理を行うための基本的な方針を定めたもの。

※2 ユネスコ無形文化遺産

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が認定する、各国の伝統や文化、慣習などの非物質的な文化遺産。文化遺産を保護し、相互に尊重する機運を高めることが目的。日本の「伝統的酒造り」は、令和6年12月に登録された。

※3 久留米女性週間

1988(昭和63)年10月1日に制定した久留米女性憲章を記念して設置。10月1日から7日までの一週間。女性問題解決のための啓発期間として位置づけている。

※4 国の法改正

「食料・農業・農村基本法」の改正のこと。農政の基本理念や政策の方向性を示す。食料、農業、農村に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民生活の安定向上と国民経済の健全な発展を図ることを目的としている。

※5 校区コミセン

校区コミュニティセンターのこと。小学校区単位のコミュニティの拠点施設。地域の支え合い活動やサークル活動、災害時の避難施設などに利用。

※6 アーバンスポーツ

スケートボードやBMX(自転車競技の一種)、スポーツクライミング、ブレイクダンスといった都市型のスポーツ。

※7 他市の事故

令和7年1月28日、埼玉県八潮市で下水道等に起因して発生した道路陥没事故。

※8 上下水道管路

生活に必要な水を、人々が生活・活動する場所へ送る水道配管と、その場所から出た汚水を下水処理場へ送る下水道配管のこと。

※9 スマートIC(インターチェンジ)

ETCを搭載した車両のみ利用可能な高速道路の簡易型のIC。従来のICに比べて低コストで導入できる。

※10 民生委員・児童委員

厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員。地域住民の福祉や子育てに関する事などの相談を受けたり、関係機関につなぐ役割を担う。任期は3年。

※11 B類疾病

主に個人の発病または重症化の予防を目的として市町村が予防接種を行う対象の疾病。接種は本人の希望により行われる。

※12 5歳児健康診査

発達障害は、5歳頃から認知される。この時期に実施することで、精神や言語、社会性の発達の状況や、育児上問題となる事項を把握するための健診。子どもの特性に応じて、就学前に必要な支援に繋ぐことなどが目的。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。議会中継(録画)



常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけではなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。
今回は、1・2月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。その録画映像にリンクするQRコードを掲載しています。ぜひご視聴ください。



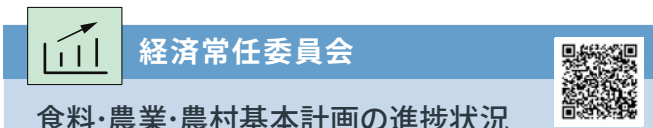
次期総合計画※1 基本構想(案)

基本構想(案)の将来都市像の設定の考え方やまちづくりの視点、基本目標などについて、総合政策課から説明を受けました。

Q 次期総合計画がめざす「まちづくり」の考え方は。

A 今後、本格的に進行する人口減少のスピードを緩和しつつ、人口規模に応じて取り組みの見直しなどを進めていく必要がある。地域の関係性が薄れていく中で、人づくり、つながりづくりに取り組みつつ、様々な分野で変革や更新を重ねながら、新たな魅力や活力を生み出すまちづくりを推進したいと考えている。

その他のテーマ▶ 1月開催なし



食料・農業・農村基本計画の進捗状況

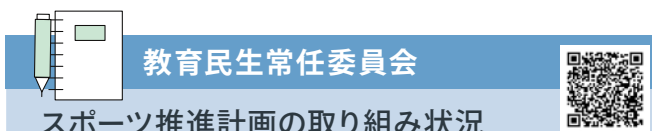
「第3期食料・農業・農村基本計画」が定める5つの基本施策ごとに、成果や課題、今後の取り組みについて、農政課から説明を受けました。

Q 農業の生産性向上は急務と考えるが、市はどのように捉えているか。

A 生産性の向上は、農業政策の基本的かつ重要な柱である。そのためには、担い手の育成やスマート農業の促進、農地の集積・集約など様々な施策を進めることによって、生産性を高めていく必要があると考えている。

その他のテーマ▶ 2月開催なし

※1 総合計画・・・久留米市が将来、どんなまちを目指し、それを実現するために、どんなことをやっていくのか記載した計画。計画は、まちづくりの最も基本的な指針で、めざすまちの姿や目標を示した「基本構想」、基本構想を実現するための施策を示す「基本計画」、基本計画を実現するための具体的な事業を示す「事業計画」の3つで構成される。



スポーツ推進計画の取り組み状況

スポーツ推進計画の目的や基本的な考え方、成果目標及び実績、今後の取り組みなどについて、体育スポーツ課から説明を受けました。

Q プロスポーツチームと市民団体などの利用希望日が重なり、施設の利用調整が難しいと聞いたが、どのように対応しているのか。

A 本市は市民スポーツが盛んなため、市民団体が大会等で利用する際は、調整会議での話し合いにより日程調整している。プロチームの久留米アリーナ利用は、県や指定管理者などと連携して調整する必要があると考えている。

その他のテーマ▶ 1月開催なし



道路整備基準などの見直しの方向性

市の道路整備の現状と取り組み方針、道路種類の整理と見直し、整備基準の改正や策定に関する方向性などについて、道路整備課から説明を受けました。

Q 道路などの整備基準の改正は、地域の要望に対する「門前払い」のルール化に見える。財源が厳しいのは分かるが、地域の困りごとには耳を傾けるべきではないか。

A 基準を策定する目的の一つは、真に緊急性・必要性の高い箇所を優先して整備することと、その際にどの職員でも同じ判断ができるようにすることである。従来の取り組みから対応を変更するものではなく、門前払いの意図はない。

その他のテーマ▶ 1月開催なし

TOPICS

2つの特別委員会が市長に提言

「歳入確保調査特別委員会」と「生活支援交通・買物問題調査特別委員会」では、これまでの調査結果をまとめ、市長に提言しました。

今回の提言書には、以下の内容を盛り込みました。

【歳入確保調査特別委員会】

- ・市税の収納率向上や債権の適正管理などの着実な歳入確保に取り組むこと
- ・使用料等の妥当性を検証し、必要に応じて見直すこと など

【生活支援交通・買物問題調査特別委員会】

- ・地域特性を踏まえた生活支援交通事業を検証し、今後の方向性を決定すること
- ・校区や民間事業者等と連携した移動販売事業を継続すること など



原口市長を中央に、甲斐田歳入確保委員長(中央左)と轟副委員長(一番左)、田住生活支援交通・買物問題委員長(中央右)と坂田副委員長(一番右)



市長への
提言書

筑後川の水害、防災や治水対策を学ぶ



講師 塚原所長

3月26日、「筑後川の水害、防災や治水対策」をテーマに議員研修会を開催しました。講師は国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 塚原隆夫 所長。

市では、度重なる水害に対応するために、国・県と連携協力し、防災・減災対策を重点的に進めています。市議会としても、改めて筑後川改修の歴史、現在進めている主な治水対策や河川改修の効果、流域治水の取り組みなどを学びました。

委員会の行政視察報告

先進事例を久留米市の発展に生かすため、委員会の行政視察を行いました。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。



視察報告書

委員会名	期 間	視察先	視察の主な内容
総務常任委員会	11月5日～ 11月7日	山形県 山形市	山形市コミュニティファンド(市民活動支援基金)
		千葉県 成田市	旧学校跡地の利活用
教育民生常任委員会	11月6日～ 11月8日	広島県 福山市	義務教育学校の取り組み
		静岡県 静岡市	認知症施策
		兵庫県 明石市	明石独自の5つの無料化(医療費・保育料・おむつ・給食費・公共施設の入場料)
経済常任委員会	1月6日～ 1月8日	茨城県 守谷市	上下水道施設管理等包括業務委託
		大阪府 大阪市	地域経済成長プラン
建設常任委員会	11月5日～ 11月7日	静岡県 浜松市	Park-PFI制度に基づく万斛(まんごく)庄屋公園利活用運営事業
		愛知県 名古屋市	空見(そらみ)スラッリサイクルセンター
議会運営委員会	10月28日～ 10月30日	神奈川県 横須賀市	オンラインを活用した委員会運営、常任委員会での所管事務調査、広報広聴会
		東京都 町田市	議会改革(議会活性化)の取り組み、高校生との意見交換会
議会広報委員会	1月15日～ 1月16日	神奈川県 相模原市	議会広報の取り組み

学生さんと
久留米はなし!

なあぜなあぜ 学生さん



久留米大学附設高等学校
普通科2年(前列左から)

埴生 光希 さん

江藤 心咲 さん

古賀 大貴 さん

萩尾 文哉 さん

(意見交換のみ参加)

貞森 仁志 さん

議会広報委員会(後列左から)

松岡 保治 委員長

石田 眞一郎 委員

学生と市議会議員が なあぜなあぜ 久留米トーク /

NGも付度もなし。今回は、久留米大学附設高等学校の皆さん。

久留米の好きなところ

- ブリヂストン通りのケヤキ並木。そこを通ると気持ちいい。
- 筑後川から見る夕日が好き。コスモス畑も。
- ゆめタウンのところに大きい道ができて、すごい便利。

将来やりたいことは?

- 人が好きなので、医者になって直接人を助けたい。そのあとに、会社をつくったりして、別の方法でも人を助けたい。一つの方法じゃなくて、いろんな方法で。医師をやっていれば、新たに何かやりたいことが出てきたときに、自由にできるところがあるかなと思って。
- 検察官になりたい。そのうえで、最終的には政治家になりたいと考えている。
- 高校で良い生物の先生に出会って、生物に興味を持つようになった。久留米は農業が盛んだし、生で農業を見てきているので、品種改良とかバイオテクノロジーの道に進めたら、久留米にも還元できるのではないかな。

議員からは

- 高校生ながら目の前だけでなく、「一生」という時間軸で仕事ややりたいことを考えているのは凄い。
- 今後、多様化も更に進んでいこう。さまざまな職業や、考えの人たちが政治家になるというのが重要。いろんな経験をしてから政治をやるというのが、今後の時代に合っていくのかな。

編集後記

今回の号が、現在の広報委員会のメンバーで編集する最後の号です。毎号、特集記事や表紙など、何度も何度も意見をぶつけ合いながら、紙面づくりを進めてきました。今期は漫画のリニューアルもありましたね。なかなか大変でした。これからも議会をより分かりやすく伝え、そして、身近に感じてもらえるように、新しい委員に思いを託します。

議会広報委員会

今号の表紙



予算委員会でも議論された環境政策。表紙は、久留米市で活動する「分別救助隊ワケルンジャー」です。環境問題解決のため、ごみの分別や、限りある資源の大切さを伝えるヒーローです。昨年導入された特小サイズのごみ袋は、1枚8円で購入できます。レジ袋として使ってみてはどうでしょうか。

次回定例会の案内

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

ライブも録画も配信中 /

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会議中継」でもご覧いただけます。



議会議中継

6月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
6/2	3	4	5	6 本会議 (提案説明)	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20 常任委員会 (教育民生・建設)	21	22
本会議(一般質問)						
23 常任委員会 (経済・総務)	24	25	26 本会議 (採決等)	27	28	29

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを讀んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3

TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくるめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。 ご意見等はこちらからも投稿できます▶

